

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		2,838	t-CO <sub>2</sub>
（温① 二室を 酸効除 化果く 炭ガ 素換 排出 量 算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO <sub>2</sub>
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO <sub>2</sub>
	④メタン		t-CO <sub>2</sub>
	⑤一酸化二窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO <sub>2</sub>
	⑨三ふっ化窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO <sub>2</sub>
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		2,838

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
温室効果ガス 総 排 出 量	2,871	t-CO <sub>2</sub>	3,441	t-CO <sub>2</sub>	3,013	t-CO <sub>2</sub>	3,039	t-CO <sub>2</sub>	2,838	t-CO <sub>2</sub>
削減率（対 基準年度）			▲ 19.8	%	▲ 4.9	%	▲ 5.9	%	1.2	%
温室効果ガス みなし総排出量						t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>
削減率（対 基準年度）						%		%		%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
原単位あたりの 排 出 量										
削減率（対 基準年度）				%		%		%		%
原単位あたりの みなし排出量										
削減率（対 基準年度）						%		%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

生産量増を考慮したエネルギー使用量増予想値をそれぞれ下回り、温室効果ガス排出量は予想値より21%削減、前年比6.6%削減となりました。  
 本社工場製造商品の他工場への移管などもあり生産量・エネルギー使用量とも前年より減少、エネルギー使用量より生産量減の割合が高く、エネルギー使用効率の指標である原単位は前年比7.64%悪化の結果となりました。

- 備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
- 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
- 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
- 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
一般管理/エネルギー使用量の把握及び管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー使用量の把握・計測・記録</li> </ul>	年度別製造販売計画から試算した温室効果ガス排出量増量予想から、毎年0.5パーセントずつ削減	エネルギー使用量を計測し記録、グループごと部署ごとに細分化し各エネルギーの使用状況を共有。データの確認・分析など省エネ活動に活用。
省エネルギー・省資源の推進/照明など	<ul style="list-style-type: none"> <li>不要な照明を消灯する</li> <li>冷房運転を28℃に設定</li> <li>動力モーター老朽品を適宜トップランナーへ更新</li> <li>エア使用量の少ない時のベビーコンプレッサーの活用・蒸気ロス（廃熱ロス）削減の為の保温材取付及び不要配管の撤去</li> </ul>	老朽化エアコンを高効率の最新エアコンへ更新する（2台目標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>無人になる時間の多い出入口の照明は人感センサー式のLED照明に更新を促進</li> <li>個室トイレウォシュレットへタイマースイッチの取付により夜間・休日の節電（年間1,414kwhの削減）</li> <li>15kWチルド送信ポンプモーターをトップランナーへ更新</li> <li>業務用エアコン2台更新</li> </ul>
省エネルギー・省資源の推進/その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>啓蒙活動として省エネポスターを社内に掲示</li> <li>各部署の電気スイッチの横に節電シールを貼る</li> </ul>		年度別製造販売計画から試算した温室効果ガス排出量増量予想から、毎年0.5パーセントずつ削減

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目（令和 6 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電力		t-CO <sub>2</sub>
熱		t-CO <sub>2</sub>

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO <sub>2</sub>
-------------------

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・チルド送水ポンプ15KWモーター老朽品からトップランナー型ポンプモーターへ更新</li> <li>・当直室の業務用エアコン（3馬力）老朽により更新。生産現場業務用8馬力エアコン 老朽により更新</li> <li>・工場、事務所トイレの個室のウォシュレット12台にタイマースイッチを設置して夜間と休日はスイッチをOFF</li> <li>・電力デマンド監視装置受電設備2ヶ所に設置により電力ピークカット実施（アイスクリーム工場5kW、ラトリア工場4kW）</li> </ul>
---

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「環境保全の日」等に特に推進はしていない。日頃の促進にて実施。</li> </ul>
--